



# 学校だより

教育目標 自主自律 創造性  
 豊かな心 健やかな身体  
 校訓 井草魂～自主、不屈の精神、共感・共働の心～

令和 6 年 7 月 19 日

杉並区立井草中学校  
 校長 田口 克敏

## 「押印と通知表」

校長 田口 克敏

日本では様々な文書に「朱色」の「印」を押す習慣があり、公私を問わず日常となっています。学校は行政機関のひとつであり、他の区役所等の官公署と同様に「文書主義」となっているため、校長の立場にいますと日常的に数多く「押印」をしています。出勤簿から始まって(学校はいまだに出勤したら「出勤簿」に押印する習慣を堅持しています。しかもこの出勤簿のスタイルは100年前とほとんど変わっていません。というのも私は「大正15年度」の長野県のある尋常高等小学校の「出勤簿」を古書店で手に入れているためです)、会計関係の決済や各種おたよりの起案文書、大会参加申込書、転入学関係文書……一日当たり50回平均として年間230日の勤務で11500回。これに学期末や年度末の「通知表」「卒業証書割印」等の押印を加えると少なく見積もって13200回。これだけの回数押印していても、通知表への押印の際には少し緊張します。理由は「まっすぐ押せるか」ということです。指で持ちながら文字の面を確認してから押印していても、微妙に左右どちらかに角度がずれていたりすることが、間々あります。気持ちに迷いや集中力が整っていないと「印影」にも影響を及ぼすと考え、努めて平静に押していますがそれでも若干傾きが出ることがあります。今回も印影がまっすぐになっていない通知表がいくつもできてしまいました。いい加減には押印していませんが、先にお詫びを申し上げます。



江戸時代に福岡県志賀島で発見された「金印」(レプリカ)。西暦57年に「漢」から授けられ「漢委奴国王」が刻まれており日本最古の印とされています。

さて、その押印をした「通知表」についても少しご紹介いたします。

その呼び名は「通知表」「通知票」「通信簿」「通知簿」「あゆみ」等々様々ありますが、義務教育段階の思い出の品にもなる物として大切に保管している方もいることと思います。私も小学校1年生のものから保管しています。現在の「通知表」の原型は、明治33年(1900年)8月の文部省令「小学校令施行規則」により作成されるようになり「学業成績」「出席日数」「身体状況」などが記入されました。戦前は「評価割合」も特に定めはないため、クラス全員が「甲」や「優」もありました。戦後長い間用いられてきた評価方法である「相対評価(集団に準拠する評価)」いわゆる「5は7%、4は24%、3は38%、2は24%、1は7%」は、「評価の客観性」を担保するために昭和23年にはその考えが取り入れられ、昭和30年代には評価の柱となりました。しかし時代の趨勢により、平成10年の学習指導要領改訂により「目標に準拠した評価(いわゆる『絶対評価』)」となり今にいたります。各観点別に目標の実現状況について「A・B・C」の評価がなされ、それらを総括して「5・4・3・2・1」の評定にまとめられることとなりました。

上は大正9年から14年にかけて使われた「児童通信簿」。栃木県のある尋常小学校の児童のもので、科目も戦前らしく「修身」「操行」などの文字が見えます。評価は「甲乙丙」の3段階でつけられていると思われます。

井草中学校では今年度から評価に関する改善を図り既にご案内のとおり、各教科ごとに「評価材料」とそれらが「評価に占める割合」を公開しています。本日配付される「通知表」はそのことを踏まえています。「知識・理解」の多寡だけを基にせず、日常の取組みや提出物などの重みを適正に反映させています。その点を十分ご理解のうえ、生徒が持ち帰る「通知表」の意味をとらえていただければありがたいです。

### 3年高校出前授業

6月28日(金)に、都立井草高校、都立東久留米総合高校、文化学園大学杉並高校、錦城高校の4校から先生をお招きして授業をしていただきました。実施した目的は『進路選択に向け、現在及び上級学校の学習と自己実現とのつながりを考え、学ぶことの意義を意識して今後の学習への見通しを立てること』『進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えるための手掛かりとすること』の2つです。

中学生の段階で、実際に高校の授業を体験したことで、より具体的に自分の進路について考えるきっかけになったのではないかと思います。

都立井草高校「英語」

Weekday Veg



都立東久留米総合高校

「職業探索パズル」



文化学園大学杉並高校

「STEAM」



錦城高校「世界史」

ギリシア神話について



### 学校保健委員会

7月10日(水)学校職員その他、校医、保護者、学校運営協議会委員の参加の下、学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は、下記の2つを目的に組織されています。

- ①学校における健康の問題について意見を交換し、協議・研究する。
- ②生徒の健康の保持増進を図るとともに、学校、家庭、地域で連携し円滑な学校保健教育を目指す。校医の先生からの指導助言を紹介します。

内科：脊柱側弯症は進行すると肺を圧迫し、歩けなくなるなど、大事な検査であり、正しい診断のために肩甲骨や体のラインがわかるような服装の準備をお願いしたい。

眼科：アレルギー性結膜炎は、かゆみや充血があり、集中力にも影響するので受診、治療をするように。スマートフォンやタブレット使用時には姿勢に気を付けること（画面と目は30cm以上離すこと）、30分使ったら20秒は休憩を入れること、近くを見続けると視力低下につながるため、休憩時は遠くのものをぼんやり見ること。

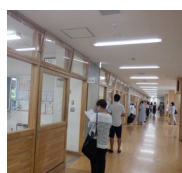
耳鼻科：アレルギー性鼻炎は、指摘されなくても、症状があれば受診してほしい。中耳炎、特に滲出性中耳炎は進行して痛みが出ないとわからないため気付きにくいので指摘している。耳垢は鼓膜の様子が変わらないことが問題なので、受診して耳垢を取って鼓膜の様子を診察してもらうこと。

学校薬剤師：空気の検査では、換気は良くできている。冬は加湿器が各教室に設置してあるので使用する。ただし、水の入替えはこまめに行うこと。

### 道徳地区公開講座

7月13日(土)2校時に各クラスで行う授業を参観、3校時に教員・保護者・地域の方々と意見交換の流れで実施しました。授業参観には多くの保護者の皆様に参観していただきありがとうございました。

意見交換会での話し合いの内容をいくつか紹介します。



- ・導入は、生徒の気持ち揺れ動くような発問ができるとうい。アイスブレイキングできるよう、たくさん意見が出る発問の工夫があるとよいのではないかな。
- ・まとめの感想等、文章で表現できない生徒もいる。いくつか選択肢を与えて、記述できる生徒はプラスで書けるようなワークシートの工夫があるとよいと思う。
- ・保護者も生徒目線で一緒に授業に参加したい。
- ・自分本位ではなく『いいことをすると自分の心が豊かになる』ということが感じられるとうい。

## 井草中の日常紹介 7月の授業・1学期に実施した教員研修・研究



### <主幹教諭(社会科)>

#### ★1年歴史「武士の世の始まり」★

「源頼朝は西国に進撃か

東国に後退か」

武士と天皇との関係を源頼朝の立場になり決断させる。生徒は始めに考えたことと終末に考えことを比較検討し、その変容について気付いたことを考察する。

生徒に「あなたが源頼朝なら次の3つのうち、どの御家人の意見を採用するか」と問いかけ、鎌倉幕府が開かれる瞬間に

せまり、歴史的考察力を向上するきっかけとする。



### <教諭(英語科)>

#### ★2年「Unit 3」★

##### ○「話すこと(やりとり)」に関して

授業冒頭では、2人組ペアによる「しゃべとれ」に取り組んでいます。質問に対して2文で返し、それに対するリアクションや追加の質問などを鍛えることで、会話を継続する力を高めています。最初は、回答例の通りに練習をしていますが、だんだんと自分自身の回答で応えられるようになり、5回ほどで、アイコンタクトをしながら自然な会話をしているようになっています。

##### ○音読に関して

音読は、読むことから話すことへの橋渡しの活動で、「すらすら読めるようになること」を目標に、授業で10回を目安に音読をしています。発音できる単語は聞き取れるため、リスニング力の向上にも繋がります。英語を英語のまま理解し、適切な意味のまとまりで区切ることができよう、最後はペアで確認し合う「すらすらチャレンジ」をして、音読に取り組んでいます。復習として、キーワードをもとに英文を再生するリプロダクションに取り組んでいます。今後は、本文の要約+自分の意見や経験、新情報を追加する「ショートプレゼンテーション」に取り組む予定です。

※7月10日には、「自分が継続して取り組んでいる

ことやずっと好きなこと」というテーマで10文スピーチを行いました。



井草中学校では、教職員が様々な研修・研究を行っています。1学期に実施したことを紹介します。

5/22「特別の教科道徳」について、講師の先生から道徳の実践方法や評価方法等についてご講義いただきました。



6/12救急救命研修:テーマ『全教職員がAEDの使用方法や心肺蘇生法を理解し技能を身に付ける』



7/3研究授業：テーマ『「学びの構造転換」を通して「自尊感情」を高め「なりたい自分」のきっかけをつかむ生徒の育成』



<家庭科 2年E組>



<数学科 3年C組>



<理科 3年A組>



<分科会での協議>

<8・9月の行事予定>

日	曜	行事	日	曜	行事
8/26	月	始業式 給食なし	13	金	修学旅行(3年)始
27	火	午前授業 給食なし	14	土	
28	水	給食始 校内研修会	15	日	修学旅行(3年)終
29	木		16	月	敬老の日
30	金		17	火	振替休業日(3年)
31	土		18	水	振替休業日(3年)
9/1	日		19	木	食育の日
2	月	全校朝礼 安全指導	20	金	専門委員会(前期最終)
3	火	職場体験(i組)始	21	土	授業公開 キャリア講座(2年) 第1回新入生保護者説明会(午後)
4	水	修学旅行事前検診(3年)	22	日	
5	木	職場体験(i組)終	23	月	秋分の日
6	金	中央委員会(前期最後)	24	火	
7	土		25	水	小中合同研修(井草中) 職場体験(2年)始
8	日		26	木	
9	月	危機対応訓練	27	金	職場体験(2年)終
10	火	選挙リハーサル	28	土	
11	水	校内研究会	29	日	
12	木	生徒会役員選挙⑥ 学級見学会(i組)	30	月	全校朝礼(承認式) 教育面談(i組)始



<生徒の皆さんへ> すでに tetoru でお知らせしていますが、中学生小笠原自然体験交流事業の応募締切は 8月26日(月) 13:00です。希望者は応募用紙に必要事項を記入し、担任に提出してください。(夏季休業中に持参した生徒は日直の先生に提出してください)